

## 国語総合

科・学年	全科 1年	単位数	3	教科書・教材	標準国語総合・最新国語便覧 ・書いてマスター常用漢字
------	-------	-----	---	--------	-------------------------------

### 1. 学習の目標

国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。古文・漢文に関する基礎的な知識を習得する。

### 2. 学習の内容

学習内容	主な学習活動
・現代の文章や古文・漢文を教材として、「読むこと」「話すこと・聞くこと」「書くこと」の各領域に関する総合的な言語能力を養う。	・随想、評論、小説、韻文などを読み、文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解したり、作者の考え方や登場人物の生き方に触れ、自分の考えをもちそれを的確に表現したりする。 ・説話、随筆、物語、故事成語などを読み、古文や漢文の文章に親しんだり、文語や訓読のきまりなどを理解したりする。

### 3. 担当者からのメッセージ

文字という視覚情報で発信されている文章を教材として、辞書や教室に設置されている I C T 機器なども活用しながら、国語による表現と理解の能力の育成に努めます。それは、人間と人間との関係の中で、互いの立場や考えを尊重しながら、言語を通して円滑に相互伝達、相互理解を進めていく能力すなわち伝え合う力を高めることを目指します。

## 現代文 A

科・学年	全科 2年	単位数	2	教科書・教材	現代文 A ・最新国語便覧 ・書いてマスター常用漢字
------	-------	-----	---	--------	-------------------------------

### 1. 学習の目標

近代以降の様々な文章を読むことによって、我が国の言語文化に対する理解を深め、生涯にわたって読書に親しみ、国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。

### 2. 学習の内容

学習内容	主な学習活動
ア 文章に表れたものの見方、感じ方、考え方を読み取り、人間、社会、自然などについて考察すること。 イ 文章特有の表現を味わったり、語句の用いられ方について理解を深めたりすること。 ウ 文章を読んで、言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解すること。 エ 近代以降の言語文化についての課題を設定し、様々な資料を読んで探究して、言語文化について理解を深めること。	・文章の調子などを味わいながら音読や朗読をしたり、印象に残った内容や場面について文章中の表現を根拠にして説明したりする。 ・外国の文化との関係なども視野に入れて、文章の内容や表現の特色を調べ、発表したり論文にまとめたりする。 ・同じ作者や同じテーマの文章を読み比べ、それについて話し合ったり批評したりする。

### 3. 担当者からのメッセージ

辞書や教室に設置されている I C T 機器なども活用しながら、近代以降の様々な文章、とりわけまとまりのある文章を読み、それをもとに考察すること、言語文化に関する課題を設定して探求することなどを目指します。

## 国語表現

科・学年	全科 3年	単位数	3	教科書・教材	国語表現改訂版・国語表現改訂版ノート・最新国語便覧・新総合国語セミナー
------	-------	-----	---	--------	-------------------------------------

### 1. 学習の目標

国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。

### 2. 学習の内容

学習内容	主な学習活動
<p>ア 話題や題材に応じて情報を収集し、分析して、自分の考えをまとめたり深めたりすること。</p> <p>イ 相手の立場や異なる考えを尊重して課題を解決するために、論拠の妥当性を判断しながら話し合うこと。</p> <p>ウ 主張や感動などが効果的に伝わるように、論理の構成や描写の仕方などを工夫して書くこと。</p> <p>エ 目的や場に応じて、言葉遣いや文体など表現を工夫して効果的に話したり書いたりすること。</p> <p>オ 様々な表現についてその効果を吟味したり、書いた文章を互いに読み合ったりして批評したりして、自分の表現や推敲に役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。</p> <p>カ 国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などについて理解を深めること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アイスブレイクを行いコミュニケーションのための土台をつくる。</li> <li>・字の表記の仕方からわかりやすい文章の書き方まで、文章表現に必要な基礎力について確認する。</li> <li>・種のトレーニングをとおして文章の「型」を習得し、論理的文章を書くための基礎力を養成する。</li> <li>・小論文テーマ一覧」を参照することで自己の論文テーマの幅を広げる。</li> <li>・葉の性質や言葉と人間との関わりについて理解し、言語生活や具体的な表現活動に役立て、人間関係を維持・構築していこうとする認識を養う。</li> <li>・己を知り、場面を判断し相手に配慮して、自分の意見を述べるという面接の学習をとおして、社会への参加能力を育てる。</li> <li>・常的なコミュニケーションに必要な基礎知識を理解し、自らの表現に生かす。</li> <li>・これまで培ってきたコミュニケーションのさまざまな技術をプレゼンテーションで用いる。言語表現と非言語表現、音声表現と非音声表現の違いを知って、プレゼンテーションでこれらの表現要素を効果的に用いることができる。</li> <li>・情報の視覚化の方法を知り、それらを効果的に用いてプレゼンテーションを行う。</li> </ul>

### 3. 担当者からのメッセージ

教室に設置されているICT機器なども活用しながら、「伝え合う力」を一層確かなものとして、社会人として生活に生かすことのできる国語の能力を更に高めることを目指します。